

**手順：**

スポットカラーを取得し  
正確に再現する

The logo consists of the lowercase letters 'efi' in a blue, italicized font.

## 手順：スポットカラーを取得し正確に再現する

### 機能概要

Fiery® Spot-On™ は、アプリケーションに依存しない、自動化されたワークフローで、ロゴカラーや他のスポットカラーに対して最も正確なカラーマッチングを実行できます。この機能を使用して、すべての PANTONE®、HKS、TOYO、および DIC ライブラリを含む名前付きカラーを Fiery サーバーで管理できます。この機能は、名前付きカラーを一般的なカラーシステムに Fiery サーバー上で直接変換し、出力カラープロファイルのパラメーターを考慮して、最良のカラーマッチを再現できます。さらに、カスタム名前付きスポットカラーを作成できます。

オプションの EFI ES-2000 分光測色計を使用すると、カラーを正確にキャプチャできます。EFI ES-2000 はカラーメトリック値を取得し、その値を Spot-On に自動入力します。

### ゴール

- 新しいスポットカラーグループを作成する
- ES-2000 を使用して新しいスポットカラーを作成する
- 新しいスポットカラーを使用してレターヘッドのテンプレートを印刷する

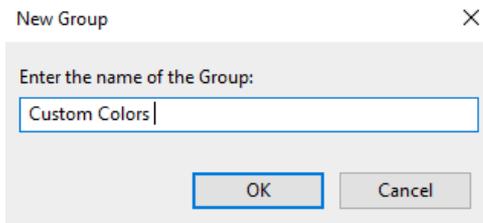
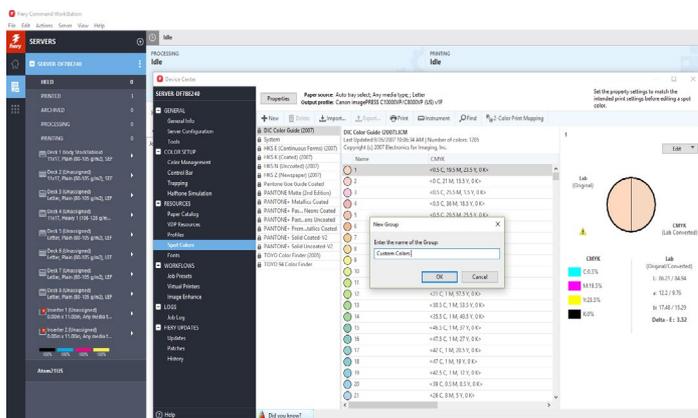
### その他のリソース

その他のソフトウェアダウンロードやトレーニングリソースについては、[Fiery オンラインリソース](#)を参照してください。

### はじめに

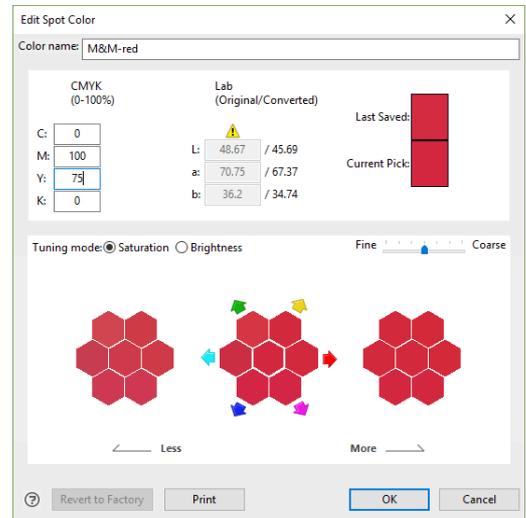
- Fiery Command WorkStation® 6（またはそれ以降）を起動し、Fiery FS350/FS350 Pro を実行している少なくとも1つの Fiery サーバーに接続してください。
- EFI ES-2000 分光測色計を Command WorkStation を実行しているコンピューターに接続してください。
- オプション: アクティベートされたライセンスを使用して、EFI Fiery Color Profiler Suite ソフトウェアを Command WorkStation コンピューターにインストールします。
- 名刺、単色の生地、パッケージなどの色の付いた要素を用意します。
- サンプルファイル  
**MnM\_letterhead\_LTR\_SAMPLE.pdf** または **MnM\_letterhead\_A4\_SAMPLE.pdf** を Fiery サーバーの待機キューに送ります。ファイルを Command WorkStation の待機リストにドラッグするか、Command WorkStation 内のインポートメニューオプションを使用してください。
- 印刷を開始する前にプリンターと Fiery サーバーのキャリブレーションを行ってください。

## 手順：スポットカラーを取得し正確に再現する



## 新しいスポットカラー グループを作成する

1. Command WorkStation のメニューで**サーバー > デバイスセンター**を選択します。
2. リソースタブで、**スポットカラー**をクリックします。
3. 「**プロパティ**」をクリックし、出力プロファイルを割り当てます。出力プロファイルは、カスタムスポットカラーの作成や、カラーサンプルの印刷用に出力プロファイルに関連付けられる用紙の指定に使用されます。
4. ジョブのプロパティウィンドウで、**カラーアイコン**をクリックします。
5. 使用しているプリントエンジンにセットされている用紙に合った**出力プロファイル**を選択します。
6. 「**用紙**」アイコンをクリックします。ワークフローに適した **Paper Catalog** または用紙の印刷オプションを選択します。
7. 「**OK**」をクリックして、「ジョブのプロパティ」を閉じます。
8. 「**+ 新規作成**」 > 「**グループ**」をクリックします。
9. グループ名を入力します。この例では、「**カスタム カラー**」と入力し、「**OK**」をクリックします。新しいグループがスポットカラーウィンドウの左側に表示されます。
10. 新しいグループ「**カスタム カラー**」を選択します。新しいグループにはまだカラーが表示されていません。次のセクションでは、新しいカラーを作成してこのグループに追加します。



## EFI ES-2000 を使用して新しいスポットカラーを作成する

1. この演習では、EFI ES-2000 を使用して赤色の要素からカラー値をインポートします。
2. 「計器」をクリックします。
3. 分光測色計のキャリブレーションウィンドウが表示されます。画面に表示される手順に従って、EFI ES-2000 をドックに置き、「キャリブレーション」をクリックします。
4. **+ 新規 > スポットカラー** をクリックします。
5. スポット カラー名を入力します。この例では、カラー名として **M&M-red** を入力します。

スポット カラー名は大文字と小文字が区別されます。適切な印刷のため、正確に入力する必要があります。

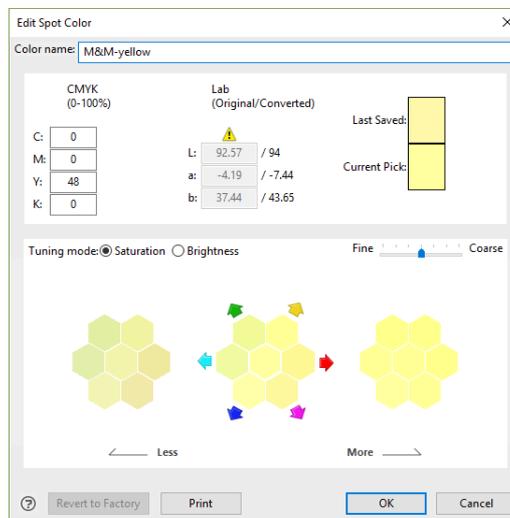
6. キャリブレーション ドックから EFI ES-2000 を取り外し、インポートするカラーの上に置きます。
7. EFI ES-2000 の側面のボタンを押して、カラー値をスキャンします。
8. カラー チャートの中央にカラーが表示されます。他のカラー パッチのいずれかを選択して、カラーをリファインできます。



9. インポートしたカラーと赤いカードのオリジナルカラーを比較するには、**新規スポットカラー**ウィンドウで**印刷**をクリックします。

警告ダイアログボックスが表示され、**Paper Catalog** から選択された用紙のキャリブレーションが、キャリブレーションの環境設定で指定した制限外にあると通知されます。一貫した出力結果を得るにはキャリブレーションを推奨します。「**印刷続行**」をクリックします。

10. 赤いカードのカラーと印刷物の中央の正方形を比較し、（画面上の）適切な正方形をクリックして、より近い一致を選択し、ターゲットを再印刷します。通常、調整はほとんど必要ありません。
11. 望ましい一致が実現したら、**新規追加**をクリックして別のスポットカラーを作成します。
12. カラーの名前を **M&M-yellow** と入力します。
13. 上記と同じ方法で、希望する黄色を **EFI ES-2000** でスキャンします。



14. インポートしたカラーとオリジナルカラーを比較し望ましい一致が実現したら、**OK** をクリックして終了します。
15. 次のセクションでは、新しいスポットカラーを適用します。



## 新しいスポットカラーを使用してレターヘッドのテンプレートを印刷する

1. Command WorkStation の待機リストで **MnM\_letterhead\_LTR\_SAMPLE.pdf** または **MnM\_letterhead\_A4\_SAMPLE.pdf** ファイルを選択します。右クリックして「印刷」を選択します。
2. 書類には、新規作成されたスポットカラーでレターヘッドが印刷されます。



## EFI fuels success.

We develop breakthrough technologies for the manufacturing of signage, packaging, textiles, ceramic tiles, and personalized documents, with a wide range of printers, inks, digital front ends, and a comprehensive business and production workflow suite that transforms and streamlines the entire production process, increasing your competitiveness and boosting productivity. Visit [www.efi.com](http://www.efi.com) or call 650-357-3500 for more information.



Nothing herein should be construed as a warranty in addition to the express warranty statement provided with EFI products and services.

The APPS logo, AutoCal, Auto-Count, Balance, BESTColor, BioVu, BioWare, ColorPASS, Colorproof, ColorWise, Command WorkStation, CopyNet, Cretachrom, Cretaprint, the Cretaprint logo, Cretaprinter, Cretaroller, Digital StoreFront, DirectSmile, DocBuilder, DocBuilder Pro, DockNet, DocStream, DSFdesign Studio, Dynamic Wedge, EDOX, EFI, the EFI logo, Electronics For Imaging, Entrac, EPCount, EPPPhoto, EPRegister, EPStatus, Estimate, ExpressPay, FabriVU, Fast-4, Fiery, the Fiery logo, Fiery Driven, the Fiery Driven logo, Fiery JobFlow, Fiery JobMaster, Fiery Link, Fiery Navigator, Fiery Prints, the Fiery Prints logo, Fiery Spark, FreeForm, Hagen, Inktenzity, Inkware, LapNet, Logic, Metrix, MicroPress, MiniNet, Monarch, OneFlow, Pace, Pecas, Pecas Vision, PhotoXposure, PressVu, Printcafe, PrinterSite, PrintFlow, PrintMe, the PrintMe logo, PrintSmith, PrintSmith Site, PrintStream, Print to Win, Prograph, PSI, PSI Flexo, Radius, Remoteproof, RIPChips, RIP-While-Print, Screenproof, SendMe, Sincolor, Splash, Spot-On, TrackNet, UltraPress, UltraTex, UltraVu, UV Series 50, VisualCal, VUTEK, the VUTEK logo, and WebTools are trademarks of Electronics For Imaging, Inc. and/or its wholly owned subsidiaries in the U.S. and/or certain other countries. All other terms and product names may be trademarks or registered trademarks of their respective owners, and are hereby acknowledged.